

教育委員会だより

詳しくは
こちら



■問合せ 教育委員会事務局総務課
教育みらい創造室（☎412867）

私たちの大切な宝である児童生徒が、夢や希望を持ち、持続可能な社会の創り手となるよう、教育委員会や各学校ではさまざまな取り組みを行っています。その「今」を紹介します。

令和7年度 大牟田市学校教育振興事業計画

教育委員会では、本市の学校教育の振興のため、今年度重点的に取り組む事業を盛り込んだ計画を策定しました。

●基本理念

「まちづくりは人づくりから」という基本的な考え方に立ち、本市の学校教育は、**持続可能な社会の創り手となる児童生徒の育成**を目指すとともに、**日本社会に根差したウェルビーイングの向上**を図ります。

●基本方針（取組方針）

児童生徒が持続可能な社会の創り手となるよう、知識・技能とそれらを活用する力を育成し、社会において自立的に生きるための基盤を培うとともに、将来の夢や目標に向かって主体的に学習に取り組む態度を育成します。

また、日本社会に根差したウェルビーイングの実現のため、自尊感情や自己効力を高めるとともに、「幸福感」や「協働性」「多様性への理解」「心

身の健康」などの要素を向上させることが重要です。

そのため、知育・徳育・体育のバランスが取れた教育を推進するとともに、ICTの活用などにより「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させます。さらに、児童生徒が安心して豊かな学びを実現できるよう、地域とともにある学校づくりに取り組み、教育環境を充実させます。

●重点的に取り組む事業

- ◆学力ブラッシュアップ推進事業
- ◆小中一貫教育推進事業
- ◆SDGs/ESD推進事業
- ◆ハートフルスクールプロジェクト推進事業
- ◆学校再編整備推進事業
- ◆人権・同和教育・啓発推進事業

◆学力ブラッシュアップ推進事業

児童生徒の確かな学力を育成するため、小・中学校にスタディサポーターや学力向上アドバイザーを派遣するなどの支援を行うほか、学力調査の実施、タブレット端末で利用できるドリル教材の活用により、児童生徒一人ひとりに合った学びを実現します。

◆小中一貫教育推進事業

小中一貫教育制度の導入（宮原中学校区3年目、宅峰中学校区・松原中学校区1年目）と試験的導入（御木中学校区・白銀中学校区2年目、白光中学校区1年目）などにより、義務教育9年間を見通した教育を推進します。



小中一貫教育推進事業のひとつ「ようこそ！先輩」では、中学1年生が小学6年生に、中学校での学校生活について紹介

◆SDGs/ESD推進事業

各学校の特色を生かしながら、地域、関係機関、団体等との連携を充実させ、本市の特色あるSDGs（持続可能な開発目標）/ESD（持続可能な開発のための教育）の深化を図ります。

◆ハートフルスクールプロジェクト推進事業

不登校児童生徒の多様な学びの場を確保するため、校内教育支援センター「ハートフルルーム」や、学校外の居場所「サテライトスペース」を運営し、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーによる心のケアや関係機関との連携、学習指導員による学びの支援を行います。

◆学校再編整備推進事業

令和9年4月から使用する白銀中学校（旧橘中学校）と白光中学校の施設整備等を進め、教育環境を向上させます。

◆人権・同和教育・啓発推進事業

人権・同和教育に対する児童生徒の理解と認識を深めるための教育活動を進めるとともに、市民への講演会や学習会を開催し、啓発を行います。

これらの事業を着実に進めることで、**持続可能な社会を創る「おおむたっ子」の育成と日本社会に根差したウェルビーイングの向上**を目指します。

中学校の再編について

本市では、少子化が進展する中、21世紀を生きる子どもたちの教育環境の向上を目指して、令和元年11月に策定した「大牟田市立学校適正規模・適正配置計画第2期実施計画」に基づき、学校の小規模化に対応した学校再編整備を進めています。

再編第1段階として、令和7年4月に、御木中学校と白銀中学校が開校しました。白銀中学校は再編に伴う工事のスケジュールを見直し、令和7年4月から令和9年3月までの2年間、閉校した旧田隈中学校を仮校舎として使用することとしています。

第2段階として、令和9年4月に白光中学校と甘木中学校の再編を予定しています。これをもって、市立中学校の再編は一段落し、市立中学校の数は6校となります。

今後、より良い教育環境の向上に向けて、学校再編整備に取り組んでいきます。ご理解とご協力をお願いいたします。



木のぬくもりが感じられる
御木中学校教室



工事中の白銀中学校



白銀中学校

教育目標 夢や目標にチャレンジし、未来を切り拓く生徒の育成

大向校長からのメッセージ

白銀中学校は、3月に閉校した2校のすばらしい伝統を引き継ぎ、新たな歴史と伝統を作り始める第一歩を踏み出しています。

子どもたちが自分の夢や目標を描き、実現できるためにどんなことにもあきらめずにチャレンジする。そして、その経験が、子どもたちにとって未来を切り拓く大きな力となることを目指します。また、自分の夢や目標を周りの仲間と語れる学校を目指します。

白銀中学校の校歌に「未来への夢と希望が膨らんでいく」「私たちは歴史と未来を繋ぐ」とあります。子どもたちにとって、夢や希望にあふれた学校生活を過ごしてほしい、これから歌い継いでいく校歌とともに、白銀中学校で得たかけがえのない経験や学びを受け継いでほしいという願いが込められています。きっと、その思いを大切にしていくと信じています。

最後に、白銀中学校が地域にとってかけがえのない存在であり、地域を象徴する学校となることを目指し、地域のみなさんから愛される学校を子どもたちとともに築いていきます。



自分の考えや思いを表現し、伝え合うことができる生徒の育成を目指し、対話を取り入れた授業



御木中学校

教育目標 思いやりの心を持ち、主体的に考え行動する生徒の育成

杉野校長からのメッセージ

御木中学校が開校し、新たな旅が始まりました。旅をするためには地図(MAP)が必要です。子どもたちには、「MISSION(使命・目標)、ACTION(行動)、PASSION(情熱)」の3つのアイテムを持って旅に出ようという話をしています。この3つのアイテムの頭文字 MAP(地図)を大切にするとともに、子どもを中心に据え、学校・家庭・地域が従来の垣根を越えて協働しながら「対話と共創の文化のある学校」にしたいと考えています。

持続可能な社会の創り手として、未来の社会をつくっていく子どもたち。その育成のためには、自身が夢や希望を持つことはもとより、「社会総がかり」で彼らを支援していく必要があると考えます。

「一人ひとりが大木のように根を張り、集い、力を合わせ、受け継がれてきた英知や精神を土台に未来をたくましく創造してほしい」という願いを込めた校名のもと、学校では、「時を守り、場を清め、礼を正す」という不易の教えをふまえ、絆や人々のつながりを通して、柔軟な発想と未来思考で子どもたちを育てていきます。



開校後、初の体育祭のテーマは「絆友勝翔～友情が導く勝利の空へ」で、全校生徒による玉入れ